

令和4年度第2回 岡崎市公園協議会

議事要旨

日 時：令和4年8月4日（木） 10時00分～12時00分

場 所：岡崎市役所 西庁舎 704号室

出席者：【委員（敬称略）】

三矢 勝司（学識経験者）
初井 泰晴（観光関係団体）
近藤 楓（イベント利用者）
平岩 幸一（地元団体）
本多 孝美（地元団体）
佐谷 繁（地元団体）
畑 克敏（周辺出店団体）
浅井 隆（公園管理者）

【事務局】

岡崎市：都市基盤部公園緑地課

【指定管理者】

籠田公園及び岡崎市籠田公園地下駐車場指定管理者：ホームックス株式会社

■開会（事務局）

（事務局より挨拶）

- ・今回の協議会を行うにあたり、協議会設置要綱第5条第2項により、出席委員が過半数に達しているため、次第に従って進めていく。

■説明事項

（事務局から【1】籠田公園でのイベントについて説明）

（質疑応答）

（本多委員）

- ・現在音の測定をしているのは平均値だが最大値にできるか。
重低音の対策として何かあるか。
申込書に何回目の利用かを入れられないか。使い方が良くない団体はシャットアウトできないかを考えてほしい。

（指定管理者）

- ・今使用している騒音計は数値がすぐゆれるため、その範囲内の数値で見ている。現段階では最大値は難しい。1時間おきに測定をしている。ずっと測定をしているわけではない。

（本多委員）

- ・近隣住民は一瞬の音の大きさでカチンとくる。

（三矢会長）

- ・重低音問題について。ステージ自体がスピーカーの役割を持ってしまっていて後ろ側に響いてしまっているようだ。KCBMでは改善案が出ているので、それらをやってみるのはどうか。
- ・イベントの規制についてどのような方向に持っていくか。

（平岩委員）

- ・近隣住民はそれぞれの問題が重なってクレームになっている。施設的に問題があるのであれ

- ば改善を行っていく必要がある。どの地域に被害が及んでいるか調査する必要もあると思う。
- (本多委員)
- ・順次イエローカードみたいなものを出し、強制力のある規制がほしい。6/12のオカザキカルチャーパークで住民の火がついた。
- (近藤委員)
- ・騒音クレームがあった所は地域や町と繋がりがいい人が多い。当日被害がでてからよりも、事前の注意喚起があったほうがより平和的になる。
- (三矢会長)
- ・イベント主催者には、騒音クレームがあったという過去事例を踏まえ、これまでの経緯を説明してから使ってもらった方がよいと思う。
- (本多委員)
- ・地域住民は全部のイベントを否定するものではない。パーゴラで普通の会話が本当にできているのであればクレームにはならない。
- (畑委員)
- ・最低の約束事プラス、何か提案をしてもらった方がよいのではないか。こちらがルールを作って守らせるよりイベント主催者側に対策を提案してもらって守ってもらう方が管理もしやすくなると思う。
- (近藤委員)
- ・利用ガイドブックがあるのでそこに近況を記載すべき。改善しようにもどのように改善したらよいか分からない。
- (平岩委員)
- ・利用申込みの段階で聞き取り調査をもっとしっかりした方がいい。
- (三矢会長)
- ・資料 - 4の下2つの「住民からの意見等があった場合はすぐに対応すること」と「公園管理者から指示のあった場合は従うこと」この2つは強調して記載すべき。
- (佐谷委員)
- ・耳障りな音を消す機械はあるが数字はPAでいくらでも操作はできてしまうので、数字で測るのは適当ではない。抜け道はいくらでもあるので、数字による規制は有効ではない。
- (初井委員)
- ・6/12のオカザキカルチャーパークの時はどのような状態だったか。
- (指定管理者)
- ・その時は目安がなく、パーゴラの辺りで日常会話ができる程度としていた。実際に話はできていた。音楽のジャンルはレゲエ音楽やパンクに近い音楽だった。
 - ・当日、住民の方が直接PA席に苦情を言いに行ったが無視されたと言っていた。
- (三矢会長)
- ・そのことは主催者と共有しているのか。
- (指定管理者)
- ・共有はしているが、指定管理者が言った通りパーゴラの前で話は出来る音量を守ったのになぜ言われなければならないのかという感じだった。
- (初井委員)
- ・主催者へ申入れを行って何か対応はしてくれたか。
- (指定管理者)
- ・その時は何もしていなかったと思う。
- (初井委員)
- ・これは結果論だが、その時に何かしらの対応をしていたら変わっていたかもしれない。
- (佐谷委員)
- ・音量数値ではダメだと思う。数値だけ守っても守りまただけで終わってしまう。やはり対話型でやっていかないと無理だと思う。協議会に付けるか主催者と住民が対話ができる場を設けた方がいいかもしれない。

- (本多委員)
- ・数値だけで言うと住民の方も独自で測ってみえる。
- (平岩委員)
- ・今パーゴラの前での話をしているが、問題はステージの後ろ側である。もっとクレームの分析も必要だと感じる。
- (佐谷委員)
- ・音がなぜ後ろ側に行ってしまうのか検証する必要がある。ステージの上に立っていると重低音は聞こえない。重低音対策は必須。例えばゴムマットを引いてステージの後ろにはシートを張るだとかの対策は必要。11日に開催予定の高校生のイベントは対策をする準備をしている。
- (指定管理者)
- ・今は騒音計を用いて音を測っている。70 dB を基準にしている。大きさ的には結構小さい音量になっている。
- (平岩委員)
- ・全然興味のない人からするといくら音量が小さくても気になる。興味のある人は物足りなくなってしまうのではないかと。実際にクレームが起きていることを前提に話をしていけない。
- (佐谷委員)
- ・まさに許容性の問題だと思う。盆踊りの音や祭囃子の音は気にならなくても低音の音が聞えてくると不快に思う。それを含めた上で、誰が主催でやっているのか分からない状態では住民の方も怒ると思う。
- (本多委員)
- ・今はうるさいと思ったら自分のところに連絡をいただくようになっている。(6/12以降) それ以降はまだ連絡は貰っていないが、住民の方も我々が動いていることを知っているので安心している。
- (佐谷委員)
- ・パーゴラ付近の方とステージ後ろの方とではやはり違う。
- (近藤委員)
- ・この審議の間にも様々なイベントが進んで行ってしまう。主催者が料金を支払いに来るタイミングなどでヒアリングをしてもらう所から始めていけば良い。
- (平岩委員)
- ・今回審議した内容をガイドブックに記載をしていき、まずはそれを守ってもらう。不備な点があれば改善をしていけば良い。
- (三矢会長)
- ・この騒音問題は継続審議とする。
- (佐谷委員)
- ・ガイドブックには分かりやすいように過去の事も記載していく。そこで注意を促す。
- (畑委員)
- ・8年前に岡崎に移住してきたが沖縄のイベントの音の大きさにびっくりした。これと同規模のイベントを毎週末に実施するのはかなりキツイと思う。
- (本多委員)
- ・前の籠田公園ではクレームは全然なかった。
- (近藤委員)
- ・音楽イベントの定義は何か。自分もマルシェでも音楽を流している。
- (三矢会長)
- ・今日のところは、申込書の改善と、注意事項の盛り込みをやってもらう。これからは詳細な事も調べ改善を行っていく。イベント終了後の報告書はどうか。
- (事務局)

- ・実際の運用まで詰め切れていないのが現状。
- (三矢会長)
- ・報告書の位置付けとして、提出しなければならないのか、あくまでも協力程度なのか。
- (事務局)
- ・出さなければならないというようにしたい。
- (三矢会長)
- ・そうであれば提出が必須であることの記載が必要になってくる。
- ・より強い書き方が望ましい。
- (本多委員)
- ・私はまだまだこれからだと思っている。スタートラインに立ったばかり。
- ・住民の方から気持ち的な部分で安心感が出てきたとあった。引越しまで考えていた方はもう少し様子を見て判断したいと言っている。
- (平岩委員)
- ・関係者が情報共有することで今後の展開にも繋がっていく。

- (事務局から【2】籠田公園利用ガイドブック更新について説明)
- (佐谷委員)
- ・ガイドブックの概要に周辺地域の特性などを入れてほしい。
- (本多委員)
- ・アンケートのご協力ではなく、報告書をご記入下さいにする。
- (三矢会長)
- ・報告書の提出期限はないか。
- (事務局)
- ・未調整です。
- (三矢会長)
- ・指定管理者がファーストコンタクトを取るタイミングはいつか。
- (指定管理者)
- ・申込みが6か月前からなのでそれ以降になる。申込み時に公園利用の有無は確認できる。その他にも SNS でのイベント情報の周知方法等も聞いているのでそこから調べることもしている。
- (事務局)
- ・仮予約の段階では名前や日付などの必要事項しか聞いていない。詳しい内容はその時点で決まっていなかったことが多い。
- (三矢会長)
- ・新たに作る申込書や籠田公園利用ガイドブックなどとの整合性をとってください。
- (佐谷委員)
- ・書類を提出するスケジュール感が曖昧なのでしっかりとするようにした方が良いと思う。

- (事務局から【3】今後のスケジュールについて説明)
- (畑委員)
- ・10月は音楽のイベントがあるようですが、次回の会議は9月の方が良いのではないか。
- (三矢会長)
- ・10月にイベントが続くのであれば、9月に実施したほうが良い。

閉会

(事務局より挨拶)

以上